

# 宮崎県林業総合センターの概要

宮崎県総合センター 普及指導室 黒木 逸郎

## 1 沿革

本県の林業試験研究は、昭和43年以来宮崎市の林業試験場で行ってきた。しかし、森林・林業に対する県民の多様な要請に応じて、21世紀の新しい時代にふさわしい機能と設備をもち、高度な試験研究や普及指導活動、情報提供等を展開するため、平成4年4月1日に本県の主要林業地の一つである耳川流域の西郷村に、「宮崎県林業総合センター」として移転、整備し業務を開始した。

開所にあたっては、次の三つの基本方針を掲げて業務を推進している。

- ① 森林・林業、林産業振興のための研究及び普及指導活動の拠点とする。
- ② 林家、林業後継者等の訓練、自主研修のできる開かれた総合センターとする。
- ③ 森林・林業、林産業の各種資料の収集、提供を行う情報センターとする。

## 2. 概要

施設は、図-1に示すように、センターの管理・運営や後継者等の研修を行う管理・研修ゾーンを核に、技術開発を行う試験研究ゾーン、森林・林業を楽しみながら学習できる森とのふれあいゾーンの三つのゾーンから構成される。

## 3. 組織と人員構成

組織は平成4年の移転時に、それまでの1課2部制から、管理課、育林経営部(林業経営科、育林保全科)、林産部(特用林産科、生物工学科)、普及研修部の1課3部制となり、平成8年4月には、普及研修部が普及指導室に改組され1室1課2部制となった。

平成9年4月1日現在の人員構成は、所長、副所長、管理課3名、育林経営部6名、林産部6名、普及指導室6名の計23名で、このうち研究員は所長、副所長を含め14名である。

このほか、森の科学館、森林植物園、体験の森等の管理運営、場内管理、試験研究補助業務等については、(社)宮崎県林業協会に委託している。

## 4. 研究課題と研究内容及び研究者名

研究部門の業務内容については、育林経営部が林業経営、森林保護、育林、森林機能保全、林産部が特用林産、木材、バイテク関連部門となっている。それぞれの研究課題については、表-1のとおりである。

## 5. その他

当センターは、林業関係者はもちろんのこと、広く

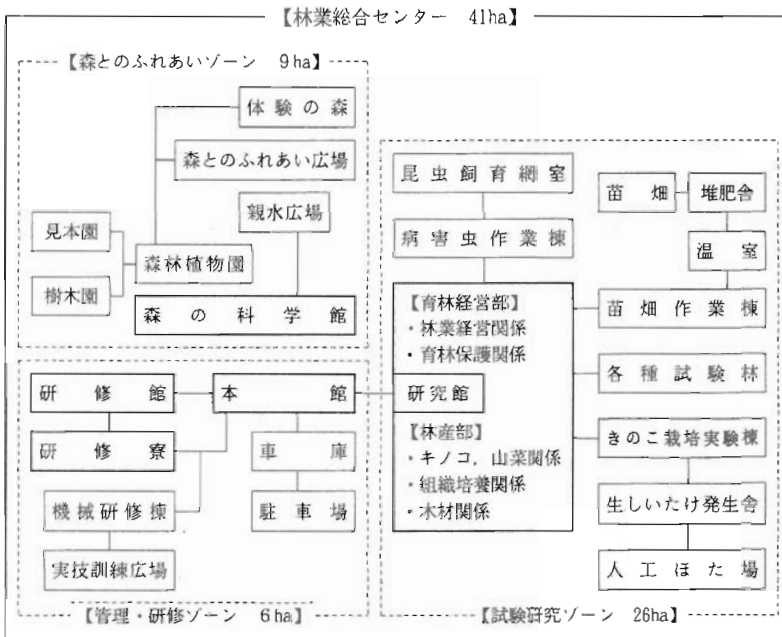


図-1 施設の概要

県民の方々が、森林・林業について見たり、聞いたり触れたりする「開かれたセンター」である。特に「森とのふれあいゾーン」は、森の科学館を中心に森林植物園、体験の森などが整備され、森林浴を楽しみながら

自然とのふれあいができるようになっている。また、サクラ108種、650本が植栽されており、将来はサクラ見本園としても親しまれるセンターになっていくと思われる。

表-1 研究課題と内容

研究課題	内 容	研究者
<b>【育林経営部】</b>		
1 高性能林業機械等による伐出作業の改善に関する研究(国補)	機械性能等にあった効率的な作業システムを確立するとともに、機械作業に伴う影響調査等を行い、継続的な林業経営のための基礎資料を得る。	宮坂 倫子
2 再造林に関する研究(県単)	造林方法、保育管理法を総合的に検討し、より省力な森林造成法について研究する。	田村 健一
3 スギ人工林に広葉樹を導入した複層林造成技術に関する研究(国補)	スギ人工林内に有用広葉樹を植栽した複層林造成管理技術の研究及び複層林化に関する林内環境、土壌等の基礎データを得る	古嶋 重幸
4 ヒノキ漏脂病の立地環境及び病原菌の特性に関する研究(国補)	ヒノキ漏脂病の発生誘因の解明、病原菌の探索、接種試験等、立地環境及び病原菌の特性について研究する。	讃井 孝義
5 緑化木の樹勢衰退に関する研究(県単)	緑化木の病害虫について発生環境等諸要因を調査し、的確な防除法について研究する。	田村 健一
6 森林の獣害に関する研究(国補)	ニホンジカを対象に、生息動態及び被害実態調査を行い、忌避剤他資材を用いた被害回避技術进行研究する	讃井 孝義
7 森林の気象害に関する研究(県単)	気象災害発生と病害発生との関係を調査し、抵抗性のあるスギの系統を検索する。	讃井 孝義
8 酸性雨等森林被害モニタリング事業(国庫委託)	酸性雨及び酸性降下物による森林被害、樹勢衰退の実態を系統的に把握する。	田村 健一
9 海岸クロマツ林の保育技術に関する研究(県単)	間伐による密度管理や広葉樹の浸入等の影響とその取り扱いなど、総合的な施業管理法进行研究する。	福里 和郎
10 酸性雨の森林土壌に及ぼす影響に関する研究(県単)	土壌の酸性化や緩衝能、植生への影響等について調査し、森林の維持、育成の基礎資料を得る。	福里 和郎
11 林業技術体系化調査(国補)	優れた林業技術の試験研究成果をビデオに収録し、研修教材や森林・林業のPR資料とする。	三樹陽一郎
<b>【林産部】</b>		
1 スギ交配種の活着及び成長特性に関する研究(県単)	オヒスギと精鋭樹の人工交配によるF1の成長・形質を調査し、再造林に適した優良品種を選定する。	三樹陽一郎
2 抵抗性クロマツの増殖に関する研究(県単)	マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ個体の増殖技術を開発する。	三樹陽一郎
3 林内の希少植物の増殖に関する研究(県単)	野生ラン等有用植物の増殖法及び栽培技術を解明する。	若松 茂樹
4 原木栽培における高品質シタケの生産技術の開発に関する研究(県単)	原木栽培における原基形成管理技術の開発、子実体の成長条件の解明等を行う。	田原 博美
5 シタケ短木栽培技術の開発に関する研究(県単)	原木栽培の軽作業化、収量の安定化を目的とする短木作業工程を見直し、短木栽培技術を開発する。	田原 博美
6 菌床シタケ栽培管理及び育種に関する研究(県単)	県内の菌床栽培で主力となっている栽培方式の栽培管理技術の体系化及び需要に適した品種の育成を図る	中島 豊
7 生シタケの地域適合品種選抜に関する研究(県単)	保存菌株の中から地域に適合した生シタケ用優良品種の選抜及び市販種菌の発生操作等の検証を行う。	田原 博美
8 きのご資源の利用と生産技術の開発(県単)	未利用のきのごで優良な菌株を選定し、栽培技術を開発する。	中島 豊
9 建築用構造材の効率的乾燥に関する研究(県単)	製材工場の人工乾燥機の特長調査、乾燥材の品質評価、乾燥コスト分析を行い、効率乾燥技術を確立する	小田 久人
10 木炭・木酢液の新利用技術の開発に関する研究(県単)	県内産木炭・木酢液の品質調査、樹種別特性を解明し、木炭・木酢液の新利用技術の開発を行う。	中島 豊
11 林内有用植物の利用に関する研究(県単)	山菜・薬用植物・緑化木等の選抜、生産、利用技術の開発により、森林資源の有効活用を図る。	若松 茂樹